

トトロ通信 NO. 44

2015年12月号 津山・きびの会通信
〒708-0863 津山市小桁137-2
TEL 0868-23-0028
川島宅 23-3294、090-7541-5263

「第10回 KHJ 全国大会 in 香川」報告

「未来に希望を持てるひきこもり支援」

～生活困窮者自立支援においてKHJができること～

第11回・山形、第12回・千葉と2年後まで大会の予定がほぼ決められたようです。津山からは理事長が夫婦で参加し、津山の2人を含めて、岡山からは19人の参加でした。

香川大会で大きな力を発揮されたのが、香川のオリーブの会の川井富枝さんを始めとして、四国のKHJの皆さんは勿論のこと、山本博司参議院議員（公明党中四国選出）でした。厚生労働省から日野徹氏（社会援護局地域福祉課・課長補佐）の支援を引き出し、引きこもり問題を生活困窮者自立支援問題に同化させる方向を打ち出してきました。これは一歩前進になるかもしれませんが、マイナンバー制度と組んで、ますます強い引き締めになるかもしれません。

つまり、40歳を過ぎても引きこもっている者は生活保護のネットによってしか救われないという決めつけが進められるかもしれません。40歳を過ぎても引きこもる息子・娘を持つ親や本人を生活保護状態に追い込もうとする施策で、社会的な矛盾の掃きだめを作ることになりかねません。実際に様々な痛ましい事件が起こりつつあります。

個人の人権（ひきこもる本人の目線）を最大限尊重するのではなく、その人権（願い）を犠牲にすることを強要することになります。それは社会的ないじめ構造を促進することになります。いじめられる方にも問題があるという構造を維持することになります。真剣な社会的対話なしに、安易に方向を定めることになります。環境問題や原発問題や手抜き問題やあらゆる社会問題が歪められることにつながります。

KHJの池田代表にはその辺の問題をしっかりと受け止めていただきたいと思っておりますので、去年の7月の初めに、いくつかの問題提起をしています。メールでのしっかりとした受け止めをお願いしていますが、まだお返事をいただけていません。高松では目線を合わせることもなく過ぎ去りました。後2・3年で結論がかるかどうか分かりません。今回の参加の想いはそんなところでした。

「カラオケを楽しむ会」

12月5日（土）17時～ ユーズボウル

1500円（若者は補助あり）

にぎわい市に参加して

11月15日に開かれた恒例のにぎわい市に（津山・きびの会）は15名の仲間に参加しました。

焼きそば、こんにゃく、ゆず、コーヒー、ゆずマーマレード、ぼかし、手作り味噌などを出品した。皆さんそれぞれの担当に全力であたった。（津山・きびの会）のパンフレットを渡して説明したり、知り合いに久しぶりに出会って旧交を温める場面も見られ和やかな雰囲気につつまれていた。参加の回数を重ねるたびにみんなの対応も上手くなり少し余裕も出てきたと感じられた。

なによりもみんなの目が輝いていた。これを通じてきびの会への関心が高まりつつあることを実感した。しかし、十分さばききれなかった物品もあり今後の課題だろう。また、例年の場所は例年のところが良いのではないかとの意見もあった。次回はさらに充実したものにてきたらと思った。散会后心地よい疲労感を感じながら家路についた。皆さんご苦労様でした。



芋煮会しました！

10月24日トトロで採れた「さといも」と持ち寄りの野菜たくさんで楽しい会になりました。（参加者13名）カラオケなどありもりあがりしました。

1月には「新年会」（小桁トトロで）の計画も出ています。皆さんのご意見待っています。



（皇帝ダリア咲きました）